

1

議席番号 3 番

盛 純一郎 議員

開始予定時間

3月16日 午前9時

【休校措置と本年度吉田中学校卒業生への配慮について】

新型コロナウイルス、COVID-19の国内の感染の広がりは依然予断を許さぬ状況にあり、2月27日に安倍内閣総理大臣は国内のすべての小中学校や高校、特別支援学校に臨時休校を正式要請した。

それを受けて、吉田町内の公立小中学校でも、3月3日から3月13日までを臨時休校とした。

この時期の休校は特に環境の大きく変わる卒業生に対して義務教育課程における学習面や思い出づくりなどの精神面で少なからず影響があると考える。

そこで以下の点について質問する。

- (1) 現時点における小中学生の登校再開、卒業式、春休み、また離任式や4月以降の入学式の実施スケジュールは。
- (2) 各学年の期末の学習単元の不足はどのように補う予定か。休校中の家庭学習の内容は。
- (3) 春から新しい環境に身をおく地域の卒業生を元気づけるための計画はあるか。

【特急静岡相良線の町内バス停及び周辺の整備について】

町内を走行するバス、しずてつジャストライン各路線は、静岡市及び隣接市への通勤通学者を中心に、今後も町民にとって重要な公共交通として活用される交通手段である。

本定例会の施政方針においては、誰もが快適に町内を移動することができる環境整備を目指し、町民にマッチした新たな公共交通の構築に向けた調査研究に取り組んでいるところとし、令和2年度に「吉田町地域公共交通網形成計画」の策定に向け具体的な内容を協議するとある。それと並行して既存の交通インフラのさらなる整備も併せて考える必要がある。

当町の中心部を貫くバス路線と新たな公共交通との連動、町の玄関口と位置付ける吉田インターチェンジ周辺や北オアシスパークとの結線、車両以外でのショッピング施設へのアクセス向上が町の賑わい創出の大きな力になると考える。

そこで、今回は、主として特急静岡相良線の町内バス停留所及びその周辺の整備等について、町民の利用率と利便性向上の観点から以下を質問する。

- (1) バス停駐輪場において、放置自転車とみられる車輛があるが、吉田町自転車等放置防止条例に基づく放置自転車撤去の実施状況は。
- (2) サイクルアンドライドシステムの各バス停駐輪場の増設の計画は。
- (3) 吉田町役場前のバス停利用にあたり、歩道橋の撤去と代替横断手段としての横断歩道および信号機の設置または併設についての町の見解は。
- (4) 吉田町役場相良方面バス停の背後地に車寄せ、待合所等での利活用の計画は。
- (5) 片岡北吉田特別支援学校バス停に雨よけ、バス接近システムの設置は。
- (6) 吉田インター入口のバス停の整備は。
- (7) バス利用者の駐車場としてパークアンドライドが有効であると考えますが、その整備構想はあるか。

【第5次吉田町総合計画について】

吉田町は本年2月に「第5次吉田町総合計画後期基本計画」を策定しました。

対象期間は、令和2年から令和5年で、「人が集い未来にはばたく魅力あふれるまち吉田町」の将来都市像を実現するための基本理念に沿って掲げた7つの施策について具体的取組の方向性を示したものです。

本基本計画に関して、町は本年1月22日から2月4日までパブリックコメントを募集し、2月28日に回答を公表しました。

そこで以下の点について質問します。

1 総合計画全般について

私の提出したパブリックコメントとその回答を示します。

意見：第5次吉田町総合計画後期基本計画（案）を策定するにあたり、同前期基本計画の評価を実施していると思いますが、その評価結果を公表するお考えはあるでしょうか。それによりPDCAサイクルを回しながら、真摯に町の改革を進めている事が分かると思います。また、後期基本計画の中に前期基本計画の評価の総括を入れることにより、後期基本計画に対する理解が深まると考えます。

回答：御意見ありがとうございます。当町では、PDCAサイクルの考え方を取り入れた吉田町まちづくりステップアップ行政評価により、毎年度、評価を実施しております。今回の第5次吉田町総合計画後期基本計画（案）を作成するに当たりましては、毎年度実施しております年度評価を踏まえ、前期基本計画の3か年分の中間的評価を実施しておりますが、前期基本計画の4年間の総括評価につきましては、本年度が前期基本計画の最終年度になることから、令和2年度に実施いたします。評価結果の公表につきましては、毎年度の事業実績と自己評価結果は公表しておりますので、来年度、実施する前期基本計画の総括評価結果も公表する予定であります。評価結果を公表するに当たりましては、分かりやすい内容になるようレイアウトを含め検討してまいります。なお、後期基本計画の中に前期基本計画の評価の総括に入れることにつきましては、前期基本計画の総括評価は、後期基本計画策定後になり、3か年分の中間評価につきましては、計画期間の途中経過となりますことから、後期基本計画に入れるべきものではないと考えております。

(1) PDCAサイクルを回す観点でC（評価）およびA（改善）が重要である。総合計画の策定において、CおよびAの過程の課題は何と考えているか。

- (2) 総合計画等審議会の会議録は公表しないのか。
- (3) 総合計画の総括評価を公表するのは初めてか。
- (4) 総合計画の策定に当たり、今まで行われてきたまちづくりワーキンググループ会議やタウンミーティングを行わなかった理由は何か。
- (5) 「分野の主な目標」の半分以上が未達であることをどのように考えているか。

2 学校教育について

第5章「次代を担う心豊かな人を育むまちづくり」の分野「学校教育」において、分野の主な目標に対する意見と回答を示します。

意見：学校教育に関する分野の主な目標に「令和2年度に小・中学校ともに全科目県平均正答率以上を達成し、以後継続させる」とあります。2019年度、前期基本計画の目標値である「全国平均正答率以上」が未達であるにもかかわらず、2020年度にさらに高い目標を達成するためには教育現場で更なる大きな変革が既に行われていると思います。どのような施策を行っているのでしょうか。

回答：御意見ありがとうございます。御指摘のとおり、前期基本計画の目標値については、未達成ではありますが、これまでの取組の成果として、着実に学力は向上してきているところです。その上で「2020年度にさらに高い目標を」とのことですが、確かにここ数年を見ますと、全体として県平均は全国平均より高い傾向にあります。今回、新たな目標設定を変更したのは、学力の定着が確かなものとなってきたことにより、より上を目指すという意図が全く無いわけではございませんが、それよりも、まずは、ほぼ同じ環境、条件の中で学習をしている子どもたちと、そして子どもたちが自分たちの学力を試す高校入試は基本的に県内での選抜となることから、県平均との比較で見たいこうという考えのもと、その目標を「県平均正答率以上」としたところです。なお、後期基本計画では、これまで取り組んできた事業に加え、総合的な学習の時間の充実による、読解力や論理的思考力等の育成の推進、一人一台の情報機器導入による質の高い授業実践に取り組んでまいります。

- (1) 何故、目標年度を令和2年にしたのか。
- (2) 本年4月に行われるであろう令和2年度全国学力・学習状況での目標達成に向けての対策に関して回答では答えていない。
どのような取組みを進めているのか。

3	議席番号 1 2 番	大石 巖 議員 開始予定時間 3 月 1 6 日 午前 1 1 時
<p>【平和行政・平和教育の推進について】</p> <p>吉田町で「核兵器廃絶平和のまち宣言」をして 2 2 年が経過します。当町は、この宣言に基づき各種の平和事業に取り組んできました。今年には広島・長崎の被爆 7 5 年に当たり、また、国連で 5 年に一度の N P T (核兵器不拡散条約) 再検討会議も開催されます。こうした情勢を受けて、自治体での平和行政の一層の推進が求められていると思います。</p> <p>そこで、以下の点について質問します。</p> <p>(1) 「核兵器廃絶平和のまち宣言」による平和の取り組みの評価と新たな事業の計画はあるか。</p> <p>(2) 国連で採択された核兵器禁止条約は 5 0 か国の批准で発効するが、現在 8 1 か国が署名し批准は 3 5 か国となっている。この背景には、被爆者の皆さんが呼び掛けた「ヒバクシャ国際署名」が大きな力となっているが、町として署名推進の取り組みはできないか。</p> <p>(3) 戦争の悲惨さを語り継ぎ、核兵器も戦争もない平和な世界をつくるための教育をどう考えるか。</p> <p>(4) 県内の市町では平和行政・平和教育がいろいろ取り組まれているが、当町でも中学生の広島や長崎への研修派遣を実現できないか。</p>		

【公共下水道事業と合併処理浄化槽事業の政策について】

吉田町公共下水道事業の会計制度は、令和2年度から地方公営企業法を適用し、企業会計方式に転換されて事業内容が可視化された。

以下値は、町から提供された予算書や上下水道課からの情報公開条例で取得した公共下水道事業費年度別事業費内訳表等の資料から表した。

(1) 下水道事業内容、平成2年度から平成30年度までの29年間について

A：全体計画区域面積：920ha

B：事業計画区域面積：379ha

C：平成30年度末までの29年間の整備面積：276.65ha

全体計画区域面積920haに対する事業計画区域面積の割合は、 $B/A = 41.19\%$

事業計画区域面積379haに対する平成30年度末整備面積の割合（進捗率）は、 $C/B = 72.99\%$ である。

平成30年度末までの事業費内訳表（資料）では、

㊦総事業決算額347億4,820万8,377円である。

内訳は、

㊧公共下水道事業費：236億9,674万2,146円

（建設費：214億1,735万6,863円、

維持管理費：22億7,938万5,283円）、

㊨公債費：110億5,146万6,231円、

㊩企業債 固定負債（借金）：48億7,240万円

㊪元金利子（借金）を表している。

29年間の㊦事業決算額に対して、1haの整備費用単価は、

$㊦/C = 1$ 億2,560万3,500円である。

事業計画区域面積379haまでの整備費用は、476億372万6,500円となる。

工事期間は、29年間で276.65ha、事業計画区域面積379haまでは39.7年となり、残り11年、令和11年度までかかる。

単純計算では過去の年間平均事業費約12億円からは、132億円と推計できる。

(2) 合併処理浄化槽設置について

環境省・大臣官房、による、浄化槽に係る国庫補助金制度の概要で、「浄化槽設置整備事業」及び「浄化槽市町村整備推進事業」が示され、標準的な工事費用は、5人槽（通常型）83.7万円、5人槽（高度型）102万円が示されている。

下水道事業と合併浄化槽事業には事業費用や事業期間に大きな差があ

ると考える。選択の検討はされているものと推測する。

以下の点について質問する。

1 公共下水道事業について

- (1) 平成30年度までの事業費内訳から下水道事業計画地区面積379ha及び全体計画区域面積に対する費用と到達年度の町の想定は。
- (2) 企業債・固定負債、元金利子等、「債権」に対する考え及び額と限度についてはどう考えているか。

2 合併浄化槽設置事業について

- (1) 合併浄化槽事業は下水道事業と比較し、費用・期間とも有利である。環境省の「浄化槽に係る国庫助成」制度を活用し、排水環境問題を合わせて合併浄化槽事業を考えるべきであると思うが、町の考えは。
- (2) 吉田町総合計画後期基本計画に浄化槽処理人口普及率、現状値39.1%、目標値42%とあるが、分母、分子の具体的基準は何を示すのか。

3 下水道排水設備設置状況について

- (1) 平成30年度末の排水設置状況で、完了戸数3,310戸、転出等が446戸、差引累計2,864戸とあるが、空き家等を含めた現況数値の確認はしているか。

【能満寺山公園の周辺への基盤整備について】

展望台施設小山城がある能満寺山公園はシーガーデンシティ構想の中でも主要な賑わいづくりの拠点の一つに位置付けられている。

能満寺山公園には、国指定文化財となっている能満寺のソテツや戦国の歴史を受け継ぐ史跡などもあり、大変魅力的な公園である。

また、能満寺山公園周辺では、「しらすのまどぐち」や「小山城楽市」をはじめとする様々な活動が展開されており、そうした活動が今後さらに拡大され、一層賑わいあるエリアとなってくれることを期待してやまないものである。

その期待が現実となることを願い、能満寺山公園周辺の基盤整備に関する以下の点について質問します。

(1) 能満寺山公園周辺の土砂災害対策について

能満寺山公園周辺には、土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域に指定されている区域があり、昨年発生した台風19号では龍光寺裏山の一部に崩落が発生している。その一帯の安全対策をどのようにするのか。

(2) 能満寺山公園への進入路拡幅について

能満寺山公園一帯を有効活用するためには、中瀬北原1号線の拡幅が必要ではないかと考えるが、拡幅に向けての計画はあるか。

(3) 念仏橋の活用について

念仏橋は、能満寺山公園につながる湯日川沿いの活用も賑わいづくりには有効であると考えます。現在、老朽化の為に通行止めとなっている念仏橋も改修の仕方によっては魅力ある橋に生まれ変わらせる事ができるのではないかと思いますので落橋するのではなく魅力ある歩道橋として修復する事を考えないか。

(4) 町営グラウンドの整備について

今、吉田町には陸上競技において卓越した結果を残される若人が出現している。こうした機運は今後ずっと受け継いで欲しいと願うものである。そうした機運を高めてもらう為にも町には町営グラウンドが必要であると考えますが能満寺山公園周辺の賑わいの創出と一体として能満寺山公園南側に町営グラウンドを整備してはどうか。